Ban.Tai Education Design

# 調整授業時数対応版<br>操作の手引き

Ban.Tai教育計画運営システム〈調整授業時数制度対応版〉

| | |
|---|---|
| **対象の版** | Ver.1.0.7（無料モニター版） |
| **無料モニターの期限** | 2027年8月31日まで |
| **動作環境** | Windows 10 / Windows 11 |
| **登録・シリアル番号** | モニター期間中は不要 |

もくじ


1. この版でできること
2. はじめる前に
3. 「10. 調整計画」を開く
4. 計画をつくる
5. 減らす教科と、回す学習を入れる
6. 対照表で確かめる
7. 表示の意味
8. 週案の実績と比べる
9. 保存とバックアップ
10. 大切なお願いとお問い合わせ

## 1. この版でできること

調整版は、教務支援システム（通常版）に「10. 調整計画」の画面を足したものです。初期設定から提出書類作成までの9つの手順は、通常版と同じように使えます。

| 調整計画でできること | 内容 |
|---|---|
| **削減と充当の登録** | 減らす教科と回す学習を、1つの計画にそれぞれ何件でも登録できます。 |
| **1/3コマの計算** | 1/3コマ・2/3コマを誤差なく計算します（1コマを3つに分けた単位で内部計算）。 |
| **対照表** | 教科ごとに、もとの時数・減らした時数・回した時数・調整後の時数を並べます。 |
| **知らせ** | 回し足りない、回しすぎ、減らしすぎ、判断できない数を、その場で表示します。 |
| **学年と学級** | 学年全体の計画と学級ごとの計画を分けて持ち、積み上げて計算します。 |
| **週案との照合** | 週案システムの提出ファイルを読み込み、調整後の計画と実績を比べます。 |

減らせる割合の上限など、国がまだ示していない数字は、アプリに入れていません。画面には「試算・下書きモード」と表示されます。

## 2. はじめる前に

1. 公式サイトの「無料モニター版ダウンロード」ページから、ZIPファイル（bantai_adjusted_curriculum_monitor_v1.0.7.zip、約165MB）を保存します。
2. ZIPファイルを右クリックし、「すべて展開」を選びます。
3. 展開したフォルダの中のアプリを起動します。インストールする場合は Setup、インストールせずに使う場合は Portable の名前がついたファイルを使います。

ZIPの中から直接起動しないでください。Windowsの警告（SmartScreen）が表示されたときは、配布元とファイル名を確かめたうえで、画面の案内に従ってください。

通常版と同じパソコンに入れても、互いに影響しません。

## 3. 「10. 調整計画」を開く

画面上部のタブの、いちばん右にある「10. 調整計画」をクリックします。「新制度対応」の印が付いたタブです。キーボードの「Alt」と「0」を同時に押しても開けます。




「10. 調整計画」を開いたところ（画面幅1366px）

> ほかの手順は「Alt」と「1」から「9」の数字で切り替えられます。画面の幅が狭いときは、タブが2段に折り返して、10個すべてが表示されます。

調整計画は、初期設定などを終えていなくても開けます。ただし対照表の「もとの時数」には、学校の年間計画の配当時数を使います。先に「1. 初期設定」から「4. 教育課程」までを入れておくと、学校の実際の数字で試算できます。

## 4. 計画をつくる

1. 「新規計画」を押すと、空の計画ができます。まず操作を試したいときは「入力例を読み込む」を押します（4年1組の例が入ります）。
2. 「計画基本設定」に、計画の名前、年度、対象の学年、対象の学級、調整のねらいを入れます。
3. 学年全体の計画にするときは、学級に「全学級」と入れます。




計画基本設定（入力例）

## 5. 減らす教科と、回す学習を入れる

「削減明細一覧」に減らす教科と時数を、「充当明細一覧」に回す学習と時数を入れます。行は「削減明細を追加」「充当明細を追加」で増やせます。不要な行は右の「×」で消します。




左が削減明細、右が充当明細（入力例）。それぞれの合計が右上に出ます

### 時数の書き方

| 入れたい時数 | 書き方の例 |
| --- | --- |
| **3コマ** | 3 |
| **1/3コマ** | 1/3 |
| **2/3コマ** | 2/3 |
| **1と1/3コマ** | 1 1/3（数字と分数のあいだに半角スペース） |

全角で「２／３」と入れても、欄から離れると「2/3」に直ります。1.5のような、1/3単位で表せない数は自動では変換せず、確認が必要な数として扱います。

## 6. 対照表で確かめる

画面の下のほうにある「年間教育計画・授業時数対照表（試算）」で、教科ごとの調整後の時数を確かめます。入力を変えると、すぐに更新されます。



⊞ 年間教育計画・授業時数対照表（試算）　4年生（2026年度 4年1組）/ 対象計画 1件　※ 基準配当時数をもとに、一致する調整計画を累積反映した試算対照表です。

| 教科・領域 | 基準配当時数 | 削減時数 | 充当時数 | 調整後時数 | 状態判定 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国語 | 245 | ▼ -3 | 0 | 242 | ▼ 削減適用 |
| 算数 | 175 | ▼ -2 | 0 | 173 | ▼ 削減適用 |
| 社会 | 90 | 0 | 0 | 90 | 基準維持 |
| 理科 | 105 | ▼ -1/3 | 0 | 104 2/3 | ▼ 削減適用 |
| 音楽 | 60 | 0 | 0 | 60 | 基準維持 |
| 図工 | 60 | 0 | 0 | 60 | 基準維持 |
| 体育 | 105 | 0 | 0 | 105 | 基準維持 |
| 道徳 | 35 | 0 | 0 | 35 | 基準維持 |
| 外国語活動 | 35 | 0 | 0 | 35 | 基準維持 |
| 総合 | 70 | 0 | 0 | 70 | 基準維持 |
| 特活 | 35 | 0 | 0 | 35 | 基準維持 |
| 探究型地域プロジェクト | 0 | 0 | ▲ +5 | 5 | ▲ 充当適用 |
| 情報活用・プログラミング | 0 | 0 | ▲ +1/3 | 1/3 | ▲ 充当適用 |
| 合計 | 1015 コマ | 5 1/3 コマ | 5 1/3 コマ | 1015 コマ | 計算整合 |

入力例の対照表。合計1015コマが調整後も1015コマのままで「計算整合」と表示されています

対照表は、対象の学年・学級に合う計画をすべて積み上げて計算します。学級の対照表には、「全学級」の計画とその学級の計画の両方が入ります。

## 7. 表示の意味

| 表示 | 意味 | すること |
|---|---|---|
| **算術上は均衡** | 減らした時数と回した時数が同じ | このまま保存できます |
| **未充当** | 減らした時数のほうが多い | 回す学習を足すか、減らす時数を見直します |
| **充当超過** | 回した時数のほうが多い | 減らす教科を足すか、回す時数を見直します |
| **削減超過** | ある教科を、もとの時数より多く減らした | その教科の削減時数を見直します |
| **要確認** | 1/3単位で表せない数が入っている | 時数の書き方を直します |




合っているとき




回し足りないとき




判断できない数があるとき

どの場合も、「算術上」合っているかどうかの判定です。制度に合っているかの正式な判定は、制度の数字が決まるまで保留されます。

## 8. 週案の実績と比べる

学期の途中で、調整後の計画に対して授業がどこまで進んだかを比べられます。この機能を使うには、担任の先生が週案システム（通常版の無料モニター版）を使っている必要があります。週案システムは、この欄にあるリンクから公式サイトでダウンロードできます。

1. 担任の先生が、週案システムから提出ファイル（weekplan_submit.json）を出します。
2. 調整計画の画面の「週案実績連携」で、その学級の提出ファイルを選びます。
3. 取り込んだ結果と対照表を確かめます。取り込み結果は自動で保存されます。




週案実績連携の欄。週案システムの入手先も案内されています

同じ提出ファイルを2回読み込んでも、二重には数えません。訂正した提出ファイルを読み込むと、古いものと入れ替わり、履歴が残ります。

## 9. 保存とバックアップ

- 調整計画は、画面のいちばん下の「調整計画を保存」で保存します。入力した内容は、パソコンの中に保存されます。
- 大事な変更の前には、「1. 初期設定」の画面にある「バックアップをダウンロード」で、データの控えを取っておいてください。
- 業務データをインターネットへ送ることはありません。

## 10. 大切なお願いとお問い合わせ

このアプリは、教育課程の判断そのものを代わりに決めるものではありません。制度や運用の最終判断は、最新の法令・通知・教育委員会などの正式な資料をご確認ください。大事な授業時数、教育課程、提出書類は、ご自身でも最終確認をお願いします。

不具合や改善のご意見は、公式サイトのお問い合わせからお送りください。学校名、児童名、成績などの個人情報は送らないでください。
https://bantai-education-design.github.io/contact/

---